

み ず み ら い つ う し ん

湖美来通信

「次代に残そう紺碧の猪苗代湖、清らかな青い湖。裏磐梯」



猪苗代湖



桧原湖



発行 / 猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会
住所 / 福島市杉妻町2番16号(事務局 福島県生活環境部環境対策室水環境グループ内)
TEL 024-521-7260 FAX 024-521-7927
ホームページ / <http://www.ht-net 21.ne.jp/ kousuikyo/>
URL / kousuikyo@ht-net 21.ne.jp

2002
10.1

NO. 1

平成14年度事業が承認

平成14年5月14日、猪苗代町のヴィライ・イナワシロで総会が開催され、平成13年度の事業報告・収支決算報告並びに平成14年度の事業計画案・収支予算案が審議され原案のとおり承認されました。

また、水環境保全基金の創設については、本協議会で検討会を設置し、そのあり方等を検討することが決定されました。

本年度の主な事業

猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全フォーラムの開催やイベント等への参加
霞ヶ浦（茨城県）の調査研修
湖沼クリーンアップ作戦や水環境保全活動団体への支援（助成金交付）
会報紙「湖美来通信」の発行、猪苗代湖・裏磐梯湖沼フォトコンテストの実施など

「きらめく水のふるさと磐梯」湖美来基金を創設

平成14年7月29日、猪苗代町の磐梯高原ホテル



「きらめく水のふるさと磐梯」湖美来基金について

1 目的

猪苗代湖及び裏磐梯湖沼流域における水環境の保全に関する活動を情報発信し、広く理解と支援の輪を広げることにより、流域における水環境保全活動の推進を図り、猪苗代湖及び裏磐梯湖沼群を美しいまま未来の世代に引き継いでいくことに寄与することを目的としています。

2 基金の構成

「きらめく水のふるさと磐梯」湖美来クラブ会費及び募金等で構成します。

3 基金の会計処理

協議会の特別会計で経理します。

4 基金の使用

流域内の水環境保全活動に対する助成事業経費及び普及啓発事業経費に充てられます。なお、基金は、年度ごとに必要額を取り崩して充当します。

5 今後のスケジュール

(1) 寄付の受付

事業の実施報告

において、本年度第2回総会が開催され、基金創設に関する会則の一部改正案、湖美来基金設置要綱案、基金運営事業計画案、収支予算案などが審議され原案のとおり承認されました。

なお、基金の詳細については、左記に掲載しています。



水環境保全推進員に委嘱状交付

猪苗代湖及び裏磐梯湖沼水環境保全推進員への委嘱状交付式並びに講習会が、平成14年4月23日に猪苗代町役場で行われました。

推進員には、会長（内堀雅雄県生活環境部長）が一人ひとりに委嘱状を交付し、活動への協力を呼びかけました。

推進員の活動内容は、猪苗代湖及び裏磐梯湖沼群の定期的な巡回や生活排水対策等の普及啓発などです。皆様にも推進員活動に対して御理解と御協力を願います。

猪苗代湖レイクロードウォークへ後援 協賛

猪苗代湖や磐梯山の自然や魅力を堪能できる「猪苗代湖レイクロードウォーク」が平成14年6月1、2日に開催されました。

協議会では後援団体として、啓発用パンフレット及び台所の水切り袋を参加者に配布し、湖沼の水環境保全の啓発を図りました。



いなわしろフイスタイバル2002へ参加

平成14年6月8、9日に猪苗代町の国立磐梯青年の家で、いなわしろフェスティバル2002が開催されました。

協議会では、「湖沼の水環境保全」をテーマに、湖沼・河川水を表示し、簡易水質調査、水生昆虫やプランクトンの観察コーナーを設けるとともに、猪苗代湖・裏磐梯湖沼の風景写真と真実を示すなど、水環境保全の普及啓発と情報発信に努めました。

地元の方々や次代を担う小中学生と水環境に係る情報や意見の交換ができましたことは、大変有意義でした。

水環境保全活動団体へ助成金交付



水環境保全に関する自主的な普及啓発活動や調査研究活動等を実施する流域内の団体に対して、活動経費の助成事業を本年度から実施することとなりました。今回は、次の3団体から応募があり、活動助成金を交付しました。各団体の水環境保全活動に期待したいと思います。

- ・猪苗代町立翁島小学校
- ・水質・水生生物調査、アサザの移植などの猪苗代湖に係る総合学習
- ・EM菌発酵液による生活排水対策の普及啓発
- ・北塩原村立裏磐梯中学校
- ・裏磐梯湖沼群の水質や水生生物調査

としています。

募金箱による募金
流域市町村内の施設を中心に募金箱を設置することとしています。

6 基金の賛同について

福島県しゃくなげ大使である次の方々から、も、基金の趣旨に賛同をいただいております。

小椋 住（住）作詞・作曲家、歌手）

坂本 春生（財2005年日本国際博覧会

田部井淳子（登山家）

協会事務総長

（敬称略）

9月20日（金）より受け付けています。

寄付金は事務局に直接持参するか、左記の郵便振替口座にお振込ください。

郵便振替口座

口座番号 02250198147

加入者名 猪苗代湖・裏磐梯湖沼

水環境保全対策協議会

なお、寄付の詳細は事務局にお尋ねください。

(2) クラブ会員募集及び募金箱等による募金
11月1日（金）より開始します。

クラブ会員募集については、会員募集チラシ、協議会ホームページ等により広く募集すること

平成13年度の猪苗代湖及び裏磐梯湖沼の水質測定結果の概要について

1 猪苗代湖

(1) COD

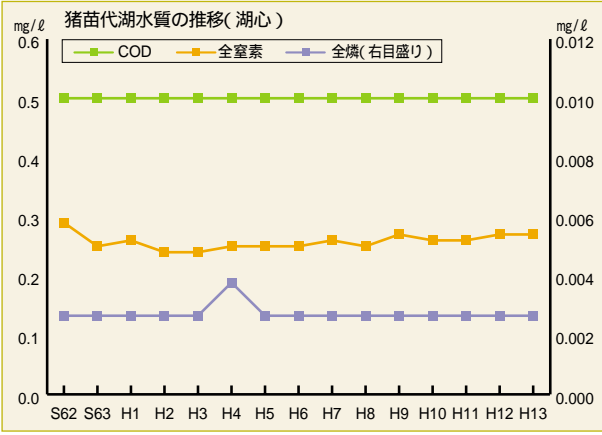
湖沼における有機物による水質汚濁の代表的な指標であるCODは、湖心において0.5 mg/lでした。湖心のCODは昭和55年度以降0.5 mg/l未満又は0.5 mg/lで推移しており、環境基準(3 mg/l)と比較しても非常に良好な水質を維持しています。

(2) 全窒素及び全磷

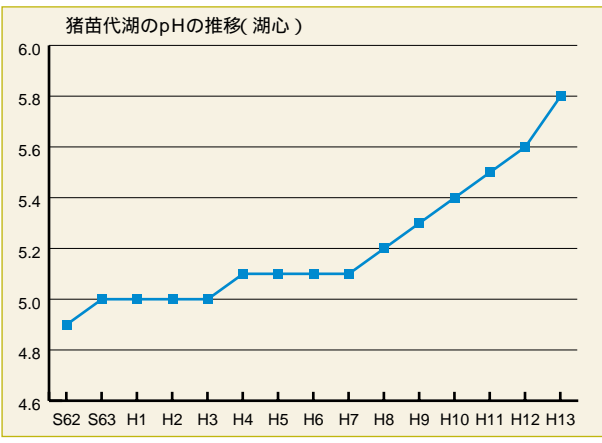
水質の富栄養化の代表的指標である全窒素及び全磷は、湖心で全窒素が0.27 mg/l、全磷が0.003 mg/lでした。全磷については、猪苗代湖特有の自然の浄化機能が働いているためここ数年0.003 mg/lを示しており、環境基準(0.01

(3) pH

水の酸性、アルカリ性の度合いを示す指数であるpHは湖心で5.8でした。通常、河川や湖沼のpHは7前後を示しますが、猪苗代湖は、旧硫黄鉱山からの強酸性の浸出水や温泉由来の強酸性の源泉が長瀬川を通じて流入するため、湖岸付近を除いて酸性を示しています。また、鉄イオンやアルミニウムイオンの濃度が高いことから、長瀬川からの流入水が中和される過程で、これらのイオンと有機性汚濁成分が吸着、結合して湖底に沈むという自然の浄化機能を持っています。



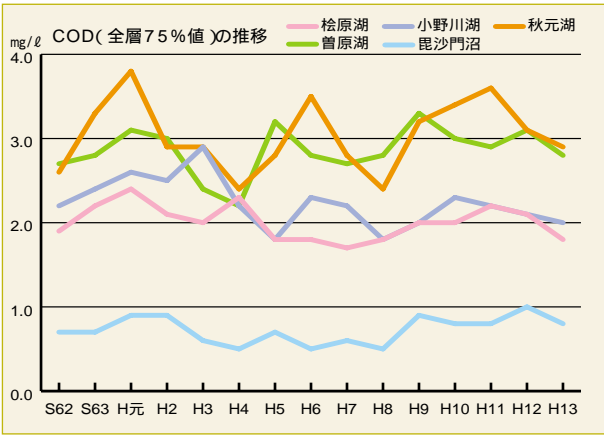
COD: 全層75%値, 全窒素・全磷: 表層年平均値



2 裏磐梯湖沼

(1) COD

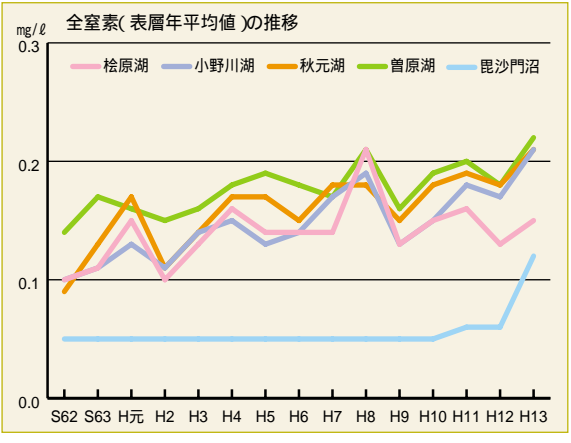
CODは松原湖1.8 mg/l、小野川湖2.0 mg/l、秋元湖2.9 mg/l、曾原湖2.8 mg/l、毘沙門沼0.8 mg/lであり、いずれの湖沼も環境基準(3 mg/l)を達成しました。



(2) 全窒素及び全磷

全窒素は松原湖が0.1 mg/l、小野川湖及び秋元湖が0.21 mg/l、曾原湖0.22 mg/l、毘沙門沼0.12 mg/lでした。全磷は、松原湖0.003 mg/l、小野川湖0.004 mg/l、秋元湖及び曾原湖が0.006 mg/l、毘沙門沼0.003 mg/lでした。

しかし、近年、pHの上昇が続いており、自然の浄化機能が働かなくなる恐れが出てきています。



このうち、全磷に関する環境基準が設定されている松原湖、小野川湖、秋元湖については環境基準(0.01 mg/l)を達成しました。(全窒素についてはいずれの湖沼についても環境基準が設定されていません)

個別生活排水事業の概要と事業施設の背景

個別生活排水事業とは、市が小型合併処理浄化槽本体を各戸に戸別に設置し、維持管理し、使用者からは、公共下水道や農業集落排水事業同様、汚水を排除した量に相当した使用量を徴収する事業、すなわち生活排水を個別処理する方式です。

各戸を下水道で結び、汚水を終末の処理場に集めて処理する集合処理方式は、人口が比較的密集する市街地には向いています。が、農業集落のように一軒当たりの敷地面積が広く、集落間の距離がある地域では、家と家、集落と集落を結ぶ下水管の整備費がかかりすぎ、一軒当たりの整備費にすれば割高になる傾向にあります。

会津若松市では、平成十三年度に下水道整備基本構想の見直しを行い、従来、公共下水道全体計画区域、農業集落排水事業整備計画区域または合併処理浄化槽設置整備事業の対象としてきた区域のうち、環境省所管国庫補助事業である特定地域生活排水処理事業の対象となる区域（山村振興法による振興山村の区域）を処理区域として、平成十四年度から個別生活排水事業として実施することになりました。

事業の対象区域と事業内容

対象となる区域は、当市の猪苗代湖流域である湊町の他、大戸町と東山町です。対象となる約一、〇〇〇世帯のうち、既に合併処理浄化槽を設置している世帯を除く約九〇〇世帯が対象となります。福島県猪苗代湖及び裏磐梯湖沼群の水環境の保全に関する条例によって新たに窒素の排出規制がある猪苗代湖流域はもちろんのこと、そ

れ以外であっても、すべてについて窒素除去型の高度処理型合併処理浄化槽を設置します。

また、処理区域内において既に合併処理浄化槽が設置されている場合には、市への無償譲渡（寄付）を条件として、市が維持管理する個別生活排水事業の処理施設として位置付けます。

さらに、宅内の排水設備工事を実施する際には、公共下水道や農業集落排水事業同様、水洗便所改造資金あつせん制度を活用できます。

個別処理への移行のメリット

従来から、個別処理である合併処理浄化槽については、その維持管理が浄化槽管理者である個人まかせであったため、浄化槽管理者によっては、保守点検、清掃または法定検査受検を怠る等した結果、合併処理浄化槽の機能が十分に発揮できないといったデメリットもありました。しかし、この事業は市が浄化槽管理者として総合して維持管理を行うため、そのデメリットも克服されることとなります。

集落単位で整備を進めれば、汚水の集合処理ならぬ面的処理することになります。また、従来の集合処理と比較すると、第一に、事業実施と同時に効果がすぐに現れること、第二に、「下流から整備の原則」がなくなる必要など必要な場所を整備できること、第三に、宅内の排水施設工事を希望するときに市が浄化槽を設置するので、ばく大な投資はしなくても継続されない、といった無駄がないこと、第四に、整備費が約六分の一、維持管理費が約四分の一で済むといったメリットがあります。

猪苗代湖及び裏磐梯湖沼の自然

湖沼の水生植物

エゾミソハギ



エゾミソハギは、日の当たる湿地や水辺に生育し、高さ50～150cmになるミソハギ科の多年草です。全体に突起状の短毛を持つのが特徴で、葉には柄がありません。夏から秋に鮮やかな紅紫色の花をつけ、桧原湖や小野川湖などの湖畔の湿地に群生しています。

知っておきたい
こんなこと

COD
(化学的酸素要求量)

水中の有機物を酸化剤によって化学的に二酸化炭素と水などに酸化分解し、その時に消費される酸化剤の量を酸素の消費量に換算して表したものです。湖沼や海域の有機物による水質汚濁を測る代表的な指標として利用されています。なお、CODの値が小さいほど水質は良好であることを示します。

編集後記

協議会では、本年3月に制定された水環境保全条例の理念のもと、「きらめく水のふるさと磐梯湖美来基金」の創設など、水環境保全の取組みを推進してまいりますので皆様の御理解と御協力をお願いします。

会報紙「湖沼環境だより」については、水環境保全基金の創設を契機に今回から「湖美来通信」として発行しましたので、引き続き御愛読をお願いします。また、身近な話題をお寄せください。

information

お知らせ

協議会ホームページの開設

協議会の活動や猪苗代湖及び裏磐梯湖沼の水環境保全に関する情報を広く発信するため、ホームページを本年4月から開設しましたので、ご覧ください。

ホームページアドレス

<http://www.ht-net21.ne.jp/kosuikyo/>

水環境フォーラムに参加を

流域内の水環境保全を図ることを目的として、活動事例発表や特別講演からなるフォーラムを開催しますのでお知らせします。

- ・日時 平成14年11月13日(水)
午後1時から3時30分まで
- ・場所 ホテルリステル猪苗代